

12月の野菜の見通し

平成29年11月22日現在

品目	区分	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
だいこん		13,111	90%	13,628	90	111%	73	-	-	千葉、神奈川産の沿岸地域は連続した台風により、塩害の被害大。出荷の中心はLサイズとなり太物の発生は例年より少ない。徳島産も肥大は鈍く、総体では小ぶりの仕上がりが予想される。総体の予想入荷量は前年比90%と平年を下回る。価格は前年、平年比でも高く、過去5カ年の最高値。全体に不足感がある中、年末に向かうにつれ相場の基調は上向く見通し。
はくさい		14,745	90%	14,645	83	120%	54	6	0.0%	10月中旬の曇雨天と台風21、22号の影響で根張り弱く、肥大は遅れ気味。平箱(4玉)中心の出荷だが、例年より大箱の比率も高く小玉傾向。病害発生懸念もあり、予想入荷量は前年比90%。価格は高値の前年より高く、平年比では大幅高。年末に向け中旬から引合い強まる見通し。
キャベツ		14,178	90%	13,439	112	107%	93	4	0.0%	千葉、神奈川産の沿岸地域は塩害の被害大きく、小玉傾向、圃場ロスにより入荷減少の見込み。前年潤沢入荷した愛知産は入荷平年並み、総体の予想入荷量は前年比90%。各産地とも入荷前年を下回り、レタスも高値の予想から、価格は前年、平年を上回る。12月前半まで相場は保合い推移も後半から年末需要も強まり一段上げ。
ほうれんそう		1,703	80%	1,586	473	148%	521	2	0.1%	露地作は10月中旬の天候不順、連続した台風の影響大きく、作柄不良。12月も急増の可能性は低く、総体の予想入荷量は潤沢入荷した前年の8割レベル。平年比でも入荷少ない見込みから、高値出現も予想される。現状、高値が続いており12月上旬には高悩みとなるも、下旬は年末需要に向け引合い強まる見通し。
ねぎ		5,774	前年並～ やや減	6,255	318	119%	271	91	1.6%	関東産は台風21、22号の強風で倒伏、葉折れ等の被害あり。下位等級品の発生が例年より大幅増加となるが、量的には大きな減少はなく、予想入荷量は前年並み～やや減。正品は品薄高顕著、下等級品も堅調価格の見込みから、高値となる見通し。東北・北海道産も切り上がり月上旬は強めの展開、下旬も年末に向かい上げ気配強まる見通し。

12月の野菜の見通し

平成29年11月22日現在

品目	区分	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
きゅうり		4,490	98%	4,406	464	103%	482	2	0.0%	10月中旬以降の天候不順の影響を受け、関東産の作柄はやや不良。西南暖地産は現状、生育遅れ気味も天候回復と加温により増量に向かう。総体の予想入荷量は関東産の入荷が伸び悩み、年比98%とやや減。価格は前年よりやや高く、ほぼ平年並み。年末需要に向けて下旬は上げ気配強まる見通し。
トマト		4,423	前年並	4,912	577	78%	448	2	0.0%	各産地とも直接的な台風被害はないものの、10月中旬以降の天候不順の影響が長引き、玉伸び鈍化、着色遅れ等により現状、出方は鈍い。12月に向かい樹勢は回復基調に向かうも、花飛びの段も散見され、だらだら出荷が見込まれる。一時的な急増はあるも、総体の予想入荷量は少なかった前年並み。前年の高値反動もあり、価格は前年比安も平年を上回る。総体に不足感ある中、年末に向かつて相場上昇の見通し。